

応援します 単位PTA活動活性化推進事業



※単位PTAとは…PTA活動の最小単位である学校毎に組織されたPTAのこと(単P)

『弁当作りを通して食について学ぶとともに、家族間のコミュニケーションを図ることを目的として行われている梅林中学校の『弁当の日』は、平成19年度から始まりました。年に2回行われており、今回で16回目を迎えました。毎回設定されたテーマにそつて、子どもたち自身でメニューを考え、買い物に行き、いろいろな工夫やアイデアでお弁当を作ります。

今回のテーマは『秋を感じる』をテーマに作った子どもたちのお弁当です。子どもたち自身でメニューイメージしたお弁当や、栗などの秋の食材を使ったお弁当など、子どもたちが感じた秋のお弁当が揃いました。そんな自信作をちょっとと照れながらも嬉しそうに見せてくれました。

自分で作ることによって、食に対する興味・関心がわいたり今まで作つてくくれていた人のありがたさに気づいたり、段取り力がつくなどいろいろな効果があるそうです。一人で作ったお弁当をみんなが褒めてくれることが、自分に自信を持つことにつながるとのお話をがありました。

保護者からは「子どもに料理を教えてあげられる、会話が増える、「ありがとうございます」と感謝の言葉がもう見える、まさに『石三鳥なんですよ』と、うれしそうに話されていました。

『梅中弁当の日』は、いつまでも子どもたちの心に残る食育だと感じました。



『秋を感じる』



**梅林中学校
弁当の日**

城南区梅林中
平成25年10月29日



福岡市の花「ふよう」

**親子で体験!
アフリカンリズム**

博多区東光中
平成25年11月16日



思春期に入り、保護者と一緒に何かをするという機会が少なくなつてくる中学生ですが、アフリカのリズムに乗って親子で盛り上がるーと、東光中学校PTAの企画で実施されました。



美術部制作のタペストリー



寒咲菜の花

賀茂小学校の活動テーマは『みんなでつくるう子どものえがお』これからもたくさんの子どもの笑顔であふれるように、学校と地域と連携しながら育んでいきたいと思います。

南区大池小

平成25年8月3日

いじめ撲滅学習プロレス



子どもたちに『人が感じる痛みを知り、思いやりをもつ大切さ』や『いのち』について教える学習プロレスが、大池小学校にて開催されました。

初めは、子どもたちが実際にリングに上がり、飛んだり、触ったりしてマットやロープの硬さなどを体感しました。なかなか上がれないリングにみんな大興奮！とても楽しそうでした。悪役レスラーが椅子を使ったり、2人で1人を攻めたりする反則やルールを守らない攻めを繰り返すたびに、「やめてー!」「するい!!」など子どもたちからたくさんの声があがりました。また、レフリーに対しても「ちゃんと見て！」と指をさして教える姿もありました。

真剣に観戦し、大きな声を上げていた子どもたち。人を思いやる心やいのちの大切さを学んでくれたと思います。きっと、学校や周囲にある『反則』にも声を上げ、立ち向かってくれると実感しました。

ぜひ、もつ一度自分たちの地域活動を、そういう視点で見直してみていただきたい。福岡市の子どもたちが豊かな自然に囲まれて、いつまでも過ごせるように、今取り組めることを考えていきたいと思う。

博多区月隈小 東日本大震災から学ぶ防災教育

平成25年8月7日 むしろだ 席田中プロック講演会 講師 仙台市教育委員会 学びの連携推進室 主幹 佐藤淳一氏(前:石巻市立雄勝中学校長)



石巻市立雄勝中学校は東日本大震災で最も大きな津波被害を受けた中学校。同校で校長を務めていた佐藤氏は、その凄まじい被害の大きさに「家族や家を失くした子どもたちを学校

教育が支えていけるのか?」という不安を持ちつつ、19日の夜、全校生徒77名全員の生存を確認できることに安堵し、全校生徒生存の紙を貼り出しました。その時沸き起こった拍手に「この津波を生き延びた子どもたちを全力で支えていかなければ」と決意されたそうです。

家を失くした子どもたちの生活面から給食・制服・授業等の復旧に始まり、流された太鼓の代わりに古タイヤに荷造りテープをまいて

作った雄勝復興輪太鼓の演奏は震災を経験した子どもたちの精神的ケアと同時に地域や行政などまわりの人たちの心を動かし、輪太鼓のドイツ公演まで実現しました。

子どもたちの笑顔のためにと始めたことでしたが、子どもたちが自分たちで仲間を思いやり、支え合い、助け合い、一つ一つ夢を実現していました。たくましく生きていく、そのひたむきな姿に今後は震災にあわなくともその気持ちを育てていく教育、支えていく教育を模索していく必要があるとお話ししてくださいました。

子どもたちに見せる大人の姿、それに応えるように成長していく子どもたちの姿が印象的でした。



Colum

玄界小・中学校校長
横山順一

城南区の中学校から教師
人生が30数年前にスタート

た。それから、西区・南区、博多区と勤務を重ねてきた。それぞれの地域で、その地域独特の行事や四季折々の自然とふれあいながらの教員生活だった。山や川、海といつた自然に囲まれて、福岡市で教員生活を送ることができた幸運を今、とても有り難いと感じている。

蛍の舞う川があり、鳥の疊る森があった。草木の緑に癒され、海の青さ、砂の白さに感激した。四季折々に咲く花や、海の幸、山の幸に福岡市の自然の豊かさを感じてきた。

さて、「継続は力なり」という言葉がある。この豊かな自然が、今の子どもたちが親になつたとき、はたして残つて行わなければならないのだろうか。わたしたちの地域の豊かさを感じてきた。

学校・PTA行事に、先を見据えた視点での取り組みがあるのだろうか。

みんな、やさしさの根っこでつながつていてる

講師 詩画作家 大野 勝彦氏

平成25年11月14日 福岡市民会館
大名小学校

特別支援教育と障がい児への理解と認識を深めるため、特別支援教育啓発研修会が行われました。今年度は左右の腕を失くされた大事故にあわれたにもかかわらず、前向きに全力で生きておられる大野勝彦さんをお招きし、講演いただきました。

高校卒業後、実家のハウス園芸を営まれた大野さんは、45歳の時、農作業中に不慮の事故により両手を切断。事故直後は「仕事ができなければ男じゃない」「一番価値の無い人間に成り下がった」とさえ思われたそうです。そんな失意のズンドの上で、両手を失ってはじめて知る子どもたち、母、妻の思い、また人の心の温かさに気づかされ、入院3日目から「湧き出る生への思い」を詩に託していく様子や生きていることの喜びについて語られました。

妻・子どもへの想い

事故にあつまでは仕事人間で、仕事さえしていれば子どもたちに関わる必要がないと思っていた大野さんは、両手を失くして初めて「本気で子どもの手を握ったことがあつただろうか」子どもとの時間を作つておけばよかつた」と後悔し、そして「家族は見舞いにも来てくれないだろう」と思つていたそ

うです。しかし、入院中、子どもたちから「父は強い人、なくてはならない人、尊敬できると人前でいえる人」と書いた手紙をもらひ、生まれてはじめて涙を流したそつです。

また自分の前では明るく振る舞つていたが廊下では泣いていると知つた子どもたちの健気さや、夜も寝ずに看病してくれた妻の思いやりに、ただ感謝の気持ちしかないと語られました。

母への想い

事故のとき、最初にかけつけて来たのはお母さんでした。しかし、気が動転して機械を止めることができなかつたお母さんを、事故は止められました。

平成25年11月14日 福岡市民会館

分のせじだとわかつてしながら「あの時助けてくれなかつた」と責めてしまつたそつです。

責めたことを謝りたいが自分のひと言が母を傷つけたことはどうにもならない。その時の思いを詩に託し「これからは母を泣かせない、親を一番大切にする」と誓つたそつです。

人への想い

これまで人に頭を下げるのも、笑うこともなかつた大野さんでしたが、人のぬくもり、優しさに触れるうちに何かお返しをしたいと思うようになったそうです。しかし何もできない、「なりば最初は笑うことから!」と、トイレで笑う練習から始めたそうです。

そして「頼まれたことは全部引き受けよう、全力で!」「どんな小さなこともチャンスだ」と声がかかると「はい、分かりました」と全国どこへでも行き、英会話を勉強してアメリカまでも講演に行かれるそつです。

新たなる想い

事故以来、泣き続けるお母さんを元気づけるため美術館を建てようと思い、10年間絵を描き続け『風の丘 阿蘇大野勝彦美術館』を開館されました。今の夢は日本一の美術館にする」と熱く語られました。

「博多高等学園」が 福岡市立特別支援学校 移転整備開校しました!!

平成25年4月に
博多区御供所町
の旧校舎から、博
多区下呂服町の
新校舎へと移転整
備開校しました。

新築の校舎は、
全国初の都市型
ビルの高等支援
学校として、注目
を集めています。

は、軽度の知的障
がいのある生徒
を対象に企業への
就労を目指して
取り組んでいる
高等部単独設置

博多高等学園
は、軽度の知的障
がいのある生徒
がいのある生徒
を対象に企業への
就労を目指して
取り組んでいます。

校舎の特徴

5階	屋上農園、温室、園芸作業室
4階	教室 体育館
3階	教室 職業教室
2階	教室 特別教室
1階	職員室 調理実習室 食品加工室



福岡出身の最初の総理大臣、広田弘毅の生涯を描いた劇の上演が、出身校の大名小であります。創立140周年を迎えた。大名小の記念事業として開催。福岡市に拠点を置き、地域の歴史を題材にした劇を作り続けている「劇団ショーマンシップ」に制作を依頼しました。当団は在校生だけではなく卒業生や地域住民150人以上が訪れました。

石材店の息子に生まれ、戦争のない世の中を願つて外交官になつた広田。総理大臣時代、戦争へと

広田弘毅の生涯を 母校で上演

平成25年11月30日
大名小学校

突き進む軍部の暴走を止められなかつたことから、戦後の裁判で罪に問われ、死刑宣告を受けました。劇は、生き生きと学生時代を送る広田と学友たちの姿を描きながら、後の裁判で一切言い訳をしなかつた広田の心の中を一緒に考える内容となっていました。

児童たちは「裁判の話は難しかつたけれど、広田弘毅という先輩がどんな人だったのか、どんな思いでなつたのか分かった」と感想を話していました。



学校の特徴として、学校内の教育だけでは、企業現場で求められる力の育成が難しいことから、特に、時期や回数を問わない現場実習に力を入れています。また、地域連携を大切にし、地域の清掃活動や地域行事などへの参加、協力をを行っています。校舎1階にある「カフエ桐のはな」で、定期的に生徒が作ったパンやケーキの販売、ドリンクの提供などを行い、地域の方々と触れ合う機会を作つています。

ありがとうございます「感謝の心」
申し訳ありませんでした「反省の心」
私がします「奉仕の心」
はいわきました「素直な心」
ヒューマンスキルの育成を目指している学校です。

福岡市PTA協議会 小中学生総合保障制度のお知らせ

安心してお子様をご養育頂くために

「小中学生総合保障制度(こども総合保険)」

お子様の「ケガ」「育英費用」やご家族の「個人賠償責任」などを補償します。

(学校内のケガの場合、「日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度」の給付とは関係なく補償されます。)

※保障制度の詳細につきましては、取扱代理店にお問い合わせください。

●制度に関するお問合せ先:取扱代理店 株式会社コーリン(福岡市PTA協議会保障制度事務局)

TEL:0120-228-553(受付時間:平日午前9時~午後5時 土・日・祝日、年末年始を除く)

●制度引受保険会社:AIU損害保険株式会社 東京海上日動火災保険株式会社

株式会社損害保険ジャパン 三井住友海上火災保険株式会社

2014年1月現在の内容です
A-000434 2015-02

平成25年度 各種表彰受賞合同祝賀会

PTA活動に貢献され、各種表彰・受賞を受けた個人・団体の皆様の受賞祝賀会が行われました。

なお、今年度は日本PTA創立65周年に当たり、PTA活動の振興に顕著な功績を残された方たちへの特別表彰も行われました。受賞者は以下の通りです。

個人の部 ※役職名は現役時です。(敬称略)

特別表彰

◆文部科学大臣表彰(PTA活動振興功労者)

谷口 祐二(福岡市PTA協議会 会長 平成17~18年度)
疋田 敏明(福岡市PTA協議会 会長 平成19~23年度)

◆日本PTA全国協議会会長表彰(PTA活動功労者)

茂島 信一 置鮎 正則 國武 美智代
西村 早苗 矢野 博嗣

◆日本PTA全国協議会会長表彰

幸丸 光雄(福岡市PTA協議会 副会長 平成24年度)
竹田 美帆(福岡市PTA協議会 副会長 平成24年度)

◆九州ブロックPTA協議会会長表彰

幸丸 光雄(福岡市PTA協議会 副会長 平成24年度)
竹田 美帆(福岡市PTA協議会 副会長 平成24年度)

◆九州ブロックPTA協議会会長感謝状

松田 瑞恵(九州ブロックPTA協議会代議員 平成23~24年度)

個人 表彰



左から、疋田敏明さん、幸丸光雄さん、竹田美帆さん、茂島真一さん、
置鮎正則さん、國武美智代さん、西村早苗さん

団体の部 ※《 》内は各団体の特色ある活動を掲載しております。

◆文部科学大臣表彰

○福岡市立有住小学校父母教師会

「お手伝い制度」を取り入れ、PTA活動への理解を深めている。「いじめ防止標語コンテスト」では、学校独自でも表彰を行い、児童のさらなる問題意識向上の啓発に努めている

○福岡市立平尾中学校P.T.A

《会員のより多くの参加を図るため、行事別係を設け、花の植替えや清掃活動など特色ある活動を展開。「平弁の日」を設け、「食育」を通じて「命の大切さを学ぶ」活動を推進している

◆福岡県教育委員会表彰(平成24年度)

○福岡市立平尾中学校P.T.A

《会員のより多くの参加を図るため、行事別係を設け、花の植替えや清掃活動など特色ある活動を展開。「平弁の日」を設け、「食育」を通じて「命の大切さを学ぶ」活動を推進している

◆福岡市教育委員会表彰

○福岡市立香陵小学校PTA

《協力委員制度導入による全会員参加のPTA活動を実施。地域、保護者、学校が連携したアウトメディアへの取り組みを行っている》

◆日本PTA全国協議会会長表彰

○福岡市立松島小学校父母教師会

《1000人規模の学校での、一人一役活動を充実。24年度は、ペットボトルのふたやブルタブを回収し、ワクチンへの協力などを行った》

◆九州ブロックPTA協議会会長表彰

○福岡市立姪北小学校PTA

「はぐくみ隊」として、多数の保護者が積極的に活動に参加。姪北小学校ゆかりの方をお招きしての講演会「ほくほく講座」を実施

○福岡市立箱崎中学校父母教師会

《思春期を迎える中学生の保護者として、急速に変化する教育環境や社会環境について学ぶ機会として「教育講演会」を年3回開催、家庭での取り組みを呼びかけた》

○福岡市立当仁中学校PTA

《学校独自のPTA活動が数多くあり、校外(地域、他校)の各行事へ生徒、保護者の参加が多く、地域との交流が盛んである》

○福岡市立百道中学校PTA

《目標・目的を持ち、意欲的に活動し、会員自ら学び成長していく事で、家庭教育向上や青少年健全育成に繋がる活動を実践。前年度の活動を整理し、形にすることで、新たな目標・向上心を持ち、事業を実施している》

団体 表彰



左から、有住小父母教師会、平尾中P.T.A.、香陵小PTA、松島小父母教師会、姪北小PTA、箱崎中父母教師会、当仁中PTA、百道中PTA

三行詩入選

3月8日(土)13:00~15:00 捧金活動をします!

福岡市PTA協議会 東日本大震災 復興支援 義援金「街頭募金」

各連合会の協力のもと、募金活動を行います。お近くをお通りの際はぜひご協力ください!

西区 ●ダイエーマリナタウン店 ●木の葉モール橋本 ●イオンモール福岡伊都店
早良区 ●西新商店街 ●西新プラリバ前
城南区 ●ダイエー笹丘店
南区 ●西鉄大橋駅 ●西鉄高宮駅 ●長住商店街
中央区 ●大丸パーセージュ広場 ●岩田屋本館前
博多区 ●JR博多駅筑紫口
東区 ●JR千早駅 ●イオンモール香椎浜店 ●ゆめタウン博多 ●ダイレックス香椎店

ここまで細かい要望をされることは知りませんでした。複雑な内容ですがとても大切なことだと思います。

編集後記

教育予算要望
これまで細かい要望をされることは知りませんでした。複雑な内容ですがとても大切なことだと思います。
● 食べることは生きること
● 安武慎吾氏の話を分かりやすくまとめてあります。病気にならない7か月やストレスをためない4か月の優秀作品が決まりました。応募総数106,245作品の中、福岡市からは、2作品が佳作として入選いたしました。
おめでとうございます!
（舞松原小学校5年生 神崎楓さん）

いかそう! 読者の声
15号モニターアンケートより

高校卒業資格が取れる音楽学校

シー アンド エス

C/S音楽学院

福岡県教育委員会指定技能教育施設

《クラス》
ヴォーカル / ダンス /
ソングライティング / 声優 /
ギター & ベース / ドラム



平成26年度 オープンキャンパス

5/18(日) 6/15(日)

7/6(日) 7/20(日)

※8月以降も毎月開催しています!

開始時間 各回 13:00~

[オープンキャンパスのお申し込み・パンフレットのご請求は]

シーアンドエス音楽学院 ☎814-0021 福岡市早良区荒江2丁目17番1号

TEL.092-834-1200

FAX.092-834-1201

<http://www.cs-music.jp/>

本校卒業生 手島葵

駿台甲府高等学校 通信制課程

学習サポート認定校



自分らしく
高校卒業する

一人ひとりに合わせた
少人数制サポート校

■ 福岡翔学館ってどんなトコ?

福岡翔学館高等学院には、不登校、体調不良、学校の雰囲気が合わない、集団が苦手…など様々な理由で全日制高校に通わない・通えない生徒が、高校卒業資格を取得して次へのステップをサポートする教育機関です。

私たちは、一人ひとりの生徒・保護者とのコミュニケーションを大切にし、「できることから1つずつ」二人三脚で生徒の成長に最適なサポートを行っています。学力面では、基礎学力サポート講座を設け、学力に合わせて個別にて行っています。

また、校外での様々な体験活動を通して、進学先や社会で必要とされるコミュニケーション力の育成にも努めています。

JR博多駅筑紫口より徒歩5分

fs 福岡翔学館高等学院

進学実績(平成21~24年度)

福岡大学 商学部／九州産業大学 経営学部
九州女子大学 人間科学学部／龍谷大学 文学部
福岡工業大学 社会環境学部／西九州大学 こども学部
筑紫女学園大学 人文学部／大阪学院大学 流通科学部
明海大学 不動産学部／中村学園大学 流通科学部
九州国際大学 法学部／東筑紫短期大学 食品栄養学科
福岡女学院大学 短期大学部 英語科

○ 高卒認定コースもあります

◆相談の受付は◆

Tel:092-433-0451

受付時間:月~日曜日(9:00~16:00)

福岡翔学会

検索